

患者さまへ

「持続的腎代替療法※におけるメシル酸ナファモスタットの

持続投与量と透析膜閉塞との関連」

※腎機能が急激に低下した急性腎不全等の重症の患者さまに対して、血液を体外循環させ、透析、ろ過、吸着などにより、血液から病因物質を除去または電解質のバランスをとり、きれいになった血液を再び体の中に戻し病態を改善する治療法です。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年4月～2024年6月の間に当院集中治療室で持続的腎代替療法を受けた患者さま
2 研究目的・方法	持続的腎代替療法を実施する際には抗凝固薬(メシル酸ナファモスタット)を投与します。その目的は、血液が凝固して、透析膜が閉塞するのを防ぐことです。透析膜が閉塞してしまうと、抗凝固薬の投与量を増やして対応しますが、実際には、投与量を調節することで、透析膜が閉塞するのを防げるかどうかは解っていません そのため、本研究では抗凝固薬の投与量に応じた、透析膜の閉塞率を調べます。 研究の期間:施設院長許可(2024年8月予定)後～ 2025年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、重症度、入室時検査データ(血液、バイタル)、使用機材の種類、副作用等の発生状況 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 鎌口清満 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科、医長 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717